

1. 科目名 (単位数)	基礎演習 (2 単位)	3. 科目番号	JCEP1104
2. 授業担当教員	中村 裕		
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	本講義はこれからの社会を担う人材、特に子どもに関わる専門家（保育者・教育者）に求められる基本的な態度や知識を身につける。保育士が携われる保育職を学ぶことで幅広い視野を獲得し職業観を育む。また、様々な幼児教育法を学習することで自己の幼児教育理念を見つけて出すことに役立たせる。保育キャリア教育を学ぶことで、受講者が自分の将来像について練り上げていくための機会となることをねらいとし、将来子どもの専門家としての職責を担うための土台をつくることを目指す。		
8. 学習目標	1. 「社会人」として必要な態度を習得する。 2. 「子どもに関わる専門家」として必要な基礎的知識・考え方を習得する。 3. 考えた事を人前でわかりやすく発表する力を養う。 4. 自己の職業観を育み、自分の将来像を練り上げる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	提出物及びレポート課題を課す。授業中に指示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 『保育の仕事がわかる本』日本実業出版社 【参考書】 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 「社会人」として必要な態度を習得しているか。 2. 「子どもに関わる専門家」として必要な基礎的知識・考え方を習得しているか。 3. 考えた事を人前でわかりやすく発表する力を養ったか。 4. 自己の職業観を育み、自分の将来像を練り上げたか。  ○評定の方法 4分の3の出席を前提に、課題の取り組み状況 40%、授業内小テスト 30%、授業への取り組み姿勢 30%		
12. 受講生への メッセージ	この授業は、社会人として必要とされる基礎的な知識や、子どもに関わる専門家としての基礎的知識を身に付ける科目です。講義を聴くだけでなく、皆さんの将来に直結する様々な演習課題に取り組みます。近い将来、保育職として活躍する自分の姿を想像し、緊張感や熱意を持って授業に臨んでください。後日通知する。		
13. オフィスアワー	後日通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	社会人の基礎力：主体性・実行力について	事前学習	社会人になるとはどのようなことか、どのような資質・能力が求められるのか又、主体性と実行力について考えておく。
		事後学習	社会人が身に付けるべき基礎力について復習し、理解を深める。
第2回	考え抜く力：課題発見力・計画性・創造力。チームで働く力（チームワーク）：傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性について	事前学習	課題発見力・計画性・創造力があることはどのようなメリットがあるのか考えておく。
		事後学習	考え抜く力、チームで働く力について再度考えて今後の生活に活かせるようにする。
第3回	保育者のためのキャリア形成 ・「キャリアを形成する」 ・「保育者」の免許・資格保育者のためのキャリア形成 ・「養成校で学ぶ」ということ	事前学習	教科書 pp. 12～13、22～23、42～47 を熟読しておくこと。
		事後学習	キャリア形成と保育職又、養成校で学ぶこと復習し、理解を深める。
第4回	保育職を選択するという事 ・「保育」との出会い保育職へと向かっていくとは？ ・保育所での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 31、56、68～79 を熟読しておくこと。
		事後学習	自らの「保育」との出会いについて再度振り返り、目指すべき保育者像をしっかりとイメージする。
第5回	保育所以外での保育士の仕事① ・児童厚生施設・乳児院での保育士の仕事 児童養護施設・児童自立支援施設での保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 96～101 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設の内容について理解を深める。
第6回	保育所以外での保育士の仕事② ・母子生活支援施設・障害者入所施設・児童発達支援センター・児童家庭支援センターでの保育士の仕事	事前学習	教科書 pp. 106～109 を熟読しておくこと。教科書 pp. 110～113 を熟読しておくこと。
		事後学習	各施設の内容について理解を深める。
第7回	保育所以外での保育士の仕事③	事前学習	教科書 pp. 114～117 教科書 pp. を熟読しておく

	・放課後児童健全育成事業（学童保育）放課後等デイサービス		こと。
		事後学習	各施設での保育者の役割について理解を深める。各施設について理解を深める。
第8回	幼稚園教諭の役割 ・幼稚園教諭とは ・環境を通しての教育：子どもにふさわしい教育環境を計画的に整える	事前学習	教科書 pp. 120～127 を熟読しておくこと。
		事後学習	幼稚園教諭と保育士の違いを理解すると共に子どもと保育環境について考える。
第9回	幼稚園教諭になるためのルートと特徴 ・ルートおよびカリキュラム	事前学習	教科書 pp. 128～133 を熟読しておくこと。
		事後学習	幼稚園教諭になるためのルートとカリキュラムについて理解を深める。
第10回	保育実習と教育実習 ・実習の流れと内容	事前学習	教科書 pp. 50～51、132～133 を熟読しておくこと。
		事後学習	保育実習と教育実習のちがいを理解する
第11回	幼稚園での1日の仕事の流れ ・1日の活動計画 ・保育中の仕事と保育の時間帯以外の仕事	事前学習	教科書 pp. 144～151 を熟読しておくこと。
		事後学習	保育の目標やねらいについて理解を深める。登園から降園、環境整備、保育準備、教職員会議など保育以外の仕事を学ぶ。
第12回	幼稚園の年間スケジュールおよび指導計画	事前学習	教科書 pp. 152～156 を熟読しておくこと。
		事後学習	地域に関わる活動や運動会など教育課程のもとに様々な計画を作成することを学ぶ。
第13回	幼稚園での子育て支援 ・幼稚園における預かり保育とは ・保護者支援：地域における幼児教育センターの役割	事前学習	教科書 pp. 156～159 を熟読しておくこと。
		事後学習	幼稚園での預かり保育を学び子育て支援の役割の重要性の理解を深める。
第14回	幼稚園と小学校との連携や他の連携について ・双方の教育のちがいや特色を確認し、連続性や一貫性を意識する ・研修の実施や地域の活動の参加	事前学習	教科書 pp. 160～161 を熟読しておくこと。
		事後学習	教育の違いを認識し理解を深めること様々な連携や交流を学ぶ。
第15回	家庭的保育事業と病児保育の仕事について ・保育ママや小規模保育事業、ベビーシッターの特徴：少人数の子どもを対象にしたきめ細かな保育 ・医療保育とは	事前学習	教科書 pp. 168～175 を熟読しておくこと。
		事後学習	小規模保育の特徴を学びメリットデメリットを探す。又、医療保育専門士の他どのような専門職があるか探る。